

第59号

発行：令和5年12月

会員数：147名（11月末現在）

（家族会員=13名、個人会員=134名）

発行責任者：田中 恆（ひさし）

編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

友の会だより

友の会事務局：

松阪市小野江町383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

観光文化スポーツ → 文化情報・施設 → 松浦武四郎記念館 → 松浦武四郎記念館友の会について

（松阪市で検索してね）

「松浦武四郎の出版！」

松浦武四郎記念館 世古 詩央里

松浦武四郎記念館の職員として、友の会の会員としてお世話になっております世古といいます。

12月1日(金曜日)から1月28日(日曜日)まで「武四郎の出版活動」をテーマに企画展示を開催します。

松浦武四郎記念館でお世話になってもう7年ほど(!)ですが、今回はじめて担当する企画展示になります。

広い蝦夷地を世間の人々に紹介するにあたり、地域別にまとめ紀行文のかたちで紹介した「東西蝦夷山川地理取調紀行」やその原稿、蝦夷地に関する本だけでなく、晩年の旅や古物蒐集に関する本を出版し、さまざまな情報を発信し続けた武四郎の姿を出版物や書簡を通して紹介します。

何かを形にして残すことはとても労力がかかりますし、何よりやり通す情熱が必要です。その情熱を武四郎は持ち続け、やり遂げたところは尊敬できる場所だと思います。そんな武四郎の顔を今回改めて紹介できればと企画しました。

12月10日(日曜日)の武四郎講座もはじめて講演をします。江戸時代の出版、武四郎の出版についてお話するつもりです。

会員のみなさんはもう知っているかもしれないこともたくさん出てくるとは思いますが、聞いていただければ幸いです。



学芸員として学校などでお話ししている世古さん



東西蝦夷山川地理取調紀行は、色刷り木版画のさし絵入りで美しい。

武四郎奉納の神鏡を訪ねる旅！

2023年（令和5年）11月13日（月）に、昨年に続いて御神鏡を拝見するバスの旅に行ってきました。会員と一般の参加者合わせて37人。京都市内には、バスが入れない所も多く、少し雨の中を歩くことに。錦天満宮・菅大臣天満宮・黄桜伏見蔵・寺田屋に行ってきました。皆様お疲れさまでした。



折れてしまったのをついであり、大切にしてくださっている
菅大臣天満宮の石標

「大阪に続いて2回目の参加」 会員 高峰 茂明

武四郎の神鏡を訪ねるバス旅に、昨年大阪に続いて今年は京都へと2回目の参加をさせていただきました。

錦天満宮においては、御神鏡を特別に公開して頂き、菅大臣天満宮においては、御神鏡は不明でしたが、石標を確認、実際に見て感慨深いものでした。

今回は、雨模様で、錦市場をゆっくり散策できませんでしたが、地元愛に包まれた武四郎友の会の和やかで暖かい雰囲気大好きです。来年も楽しみにしています。

「武四郎の神鏡を訪ねる旅」に参加して 新会員 今本 明子

こんなバスツアーがあるので参加してみませんかとお誘いを受けたのをきっかけに、初めて参加させていただきました。最初に行った錦天満宮の御神鏡、一般公開も初めてとのこと、それを間近で拝見することが出来ました。貴重な経験だと思います。奉納鏡を一般公開することにより、松浦武四郎の名を京都の方々に知ってもらえるいい機会だと思います。菅大臣天満宮の御神鏡は不明ということでしたが、奉納を印した石標を見ることが出来ました。最後の寺田屋は、幕末の京都の動乱を堪能出来る場所として興味深く見学させていただきました。

この日は、雨も少し降っていて寒かったですが、帰りのバスの車窓からは綺麗な虹が何度も見られ、心を和ませてくれました。車中での館長さんや学芸員さんの説明もわかりやすく、大変有意義な一日でした。ありがとうございました。



菅大臣天満宮にて記念撮影！雨があがって良かった！撮影して下さった朝倉さんありがとうございました。

偉人発見ウォークを開催しました！

2023年（令和5年）10月29日（日）の午前中に、松阪偉人顕彰団体協議会主催による偉人発見ウォークが行われました。インフルエンザが流行していて急きょ欠席された方もいましたが、23人の参加者とスタッフ、松阪偉人団体の方々10人ほどで小野江を歩きました。松浦武四郎記念館では館長からお話しをお聞きし、外に出たからは、友の会の役員が分担してお話ししました。終了後に参加したお子様に声をかけると、「楽しかった。」と言ってもらえたのでほっとしました。

参加された方に依頼して、感想を書いていただきましたので、紹介します。

…家族三人で参加して… 名越正直

本日は松阪「偉人ウォーク」松浦武四郎に家族三人で参加させていただき有難うございました。久居に住み、小学5年生の息子を持つ親です。今回、パンフレットを拝見して、応募させて頂きました。

近くでも、なぜか中々来なかった松浦武四郎記念館。「北海道」の名前を付けたこと、小野江町の出身であることは、知っていました。

16歳で家出して、江戸で見つかり連れ戻され、翌年また親からの一両をにぎりしめ、28歳まで家にも帰らず全国を旅した「好奇心旺盛のおうちやく者」に、とても驚かされ、パワーを感じました。

28才から41才にかけて13年間で「蝦夷」に6回も訪問したそうですが、いつの頃、どれくらいの期間かけて、どのエリアを回ったのか教えていただきたいです。その際、「アイヌ」の人たちは、どのエリアにどれくらいいて、彼らとの言葉のやり取りはどうやったのか。直接なのか、通訳がいたのか知りたいです。

返ってきてから、江戸で結婚して住まいを構えたので、42才以降は旅をせずに書き物中心で晩年まで過ごしたのですか。何回か地元松阪に帰郷をすることはなかったのですか。本居家や伊勢神宮関係の人達とのやりとりは日誌にみられるのでしょうか。

「北加伊道」に関して151冊もの日誌を含め、全国行脚の日誌がものすごくあり、大変興味があります。日誌などを読む会が行われていることをお聞きしましたが、是非一緒に勉強させて頂きたいです。歴史上の著名人とのやりとり、本居家とのやりとり、伊勢商人とのやりとり、大台ヶ原、富士山での日誌を勉強してみたいです。

松浦家が元々長崎の平戸の出であると、お聞きしましたが、武四郎が長崎に行った時、「松浦家のルーツを探る」旅をしていなかったのでしょうか。長崎での旅日誌にそのような記載はなかったのでしょうか。

そして、松浦家の武四郎を中心とした家系図、関係図（従弟、叔父）が見たかったです。

数多くの疑問と要望を長々と書いてしまい申し訳ございません。

中身の濃いイベントでした。また「松浦武四郎」をもっともっと知りたくなりました。

お世話になりました。今後とも宜しく願います。



とっても良いお天気で、さわやかな風がこちよいい日でした。2時間の行程でしたが、みなさまお疲れさまでした。



【記念館からのお知らせ】

☆記念館講座のご案内

1 2月10日(日)10:00 から テーマ:「武四郎の出版活動」 講師:世古詩央里【記念館学芸員】

1 月14日(日)10:00 から テーマ:「武四郎の正月」 講師:山本命館長

2 月11日(日)10:00 から テーマ:「武四郎の進言—『慷慨家(こうがい)』の側面」

講師:佐藤圭祐【記念館学芸員】

3 月10日(日)10:00 から

講演会:「松浦武四郎と本草(ほんぞう)学者・山本亡羊(ぼうよう)」

講師:三浦泰之(やすゆき)さん【北海道博物館学芸主幹】

定員:先着60人(申込不要) 参加費:無料

4 月14日(日)10:00 から 未定

☆企画展示のご案内

1 2月 1日(金)~1月28日(日) 企画展「武四郎の出版活動」

2 月 2日(金)~3月24日(日) 企画展「武四郎をめぐる文人たち」

3 月29日(金)~ 新展示スタート

【友の会よりのお知らせ】

第29回武四郎まつりで活動展示!

友の会として、展示ブースを出します。

子どもたち大歓迎です!! ご家族でお越しくださいね!

日時 2024年(令和6年) 2月 25日(日)

10:00~15:30

場所 松浦武四郎記念館駐車場展示テント



「擬革紙(ぎかくし)実演の講座」参加募集!

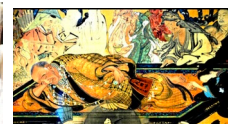
日時 : 2024年3月16日(土曜日)

午後2時から3時 講師:堀木 茂さん

松浦武四郎記念館多目的室にて

参加費は、無料です。

※武四郎さんが愛した火の用心と書いた「たばこ入れ」がそれです!



会費納入のお願い

令和5年度の年会費を、納付いただきますようお願いいたします。今後、口座振込みをご希望の方は、記念館事務局 0598-56-6847 へお問い合わせください。



次回の発行は、4月の予定です。

